

事業所職員向け児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2024年 2月 29日

公表: 2024年 2月 29日

事業所名 運動学習支援教室ふれんず山王教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		集団活動が行えるような、死角のない指導員の目が届く一つの空間で療育を行っています。	
	2 職員の配置数は適切である	7		人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。自動指導員・保育士・理学療法士など児童分野や福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		児童が分かりやすい遊具の配置、掲示物を減らす、活動時には遊具を片付ける等工夫しています。	マットの段差や手すりの有無がありますが、今現在まで怪我をした子どもや必要とする利用者がいない為、今後必要に応じて随時検討、整備していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。常時空気清浄機つけ、冬場は加湿器を設置しています。活動スペースは1か所ですが、多目的に使用できるようにしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		PDCAサイクルは常日頃、職員一同が心がけ、午前・午後、事前・事後でミーティングを行っています。また月1で職員会議を実施し、都度月の振り返りや目標の確認を行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者向け評価表を用いて、いつでも意向をうかがえるような空気作りをしています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		自己評価の公開をし、利用者の方々のご意見を伺って療育の質の向上に努めております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		R4年に実地指導が行われ、その指導をもとに業務の改善、向上に努めております。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		オンライン研修に参加したり、療育センターの研修に参加したりと、職員の知見を深め、療育に活かすようにしています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズ把握を行っています。来所時に児童の行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部での発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に表記しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		常時個別支援計画に沿った支援を心がけています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		課題内容や指導の仕方について日ごと・月ごとに職員間で話し合い、共通の目標を持って取り組むことを目指しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		運動・学習・遊びを利用児童の習熟度に合わせて行えるよう工夫しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		活動開始前30分程度職員ミーティングを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認し合っています。終了後もミーティングを行い、利用者の様子や支援の振り返りを行って記録します。それらを次のステップアップや改善につなげています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		概ね6か月に1度、保護者の方と確認を行った上で見直しを行っています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		開催される場合には、児童発達支援管理責任者・管理者・担当者など、都度適任者を選んで出席しています。		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		必要時、関係機関との連携を取っています。		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在は医療的ケアが必要なお子様は通所していません。医療的ケアが必要な方が通所の際は各機関と連携をし、安心して利用できる様体制を整えます。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			移行先や保護者の要望に応じて、会議の実施や保護者を通じての情報提供を行っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			必要に応じて情報共有を行い、相互理解に努めております。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			療育センター等の専門機関の研修を必要に応じて受講しております。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1		事業所内にある保育園との交流を双方のイベント行事等を通じて交流する機会を設けております。	未就学児の交流機会が少ない為、今後要望に応じて一緒に活動する機会を計画実施していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	1		開催時、必要に応じて参加しております。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			日々の送迎の際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けております。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7			フィードバック時に対応の方法等のアドバイスの機会を設けております。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時に説明をしております。また随時不明な点は職員が説明するようにしております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			個別支援計画の同意の際に、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」について説明を行っています。また半年を目安に定期的にモニタリングを行い、支援内容を説明した上で同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			必要に応じて相談を受け付けています。また定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7				今年度保護者会の実施はありませんでしたが、フリーマーケット等の実施で保護者同士が関わる事ができる機会を設けています。保護者会実施の要望があれば、その都度検討・実施していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するように努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			活動概要や行事予定、連絡を紙媒体のみでなくメールや施設内掲示にて発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			伝達方法を工夫し、個人個人に合わせ伝わりやすい方法で伝えるようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7			フリーマーケットの主催や、地域マルシェへの積極的な参加を行い、親しみやすさを感じてもらえるような事業運営となるよう尽力しています。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		マニュアルの策定は行っており、児童と職員で年3回程度の避難訓練を実施しております。	今後保護者も交えた避難訓練の実施を検討していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		契約の際や送迎時にしっかりと保護者の方より聴取し、確認しております。食事やおやつの際はそれらに沿って提供しないようにしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		危険な事例があった場合、日々の記録に記載し、ミーティングを通して職員で共有し、同じことが起きないように努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		外部の研修を受ける機会を設けています。また施設内にて虐待防止委員会を設置し、都度職員間で支援内容の確認を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			現在対象児童はおりません。対象児童がいる場合、施設内委員会にて検討した後、保護者への了承を得て支援計画に記載する体制があります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。